

## 「宿題」

3年 Y.K

私は宿題が全く好きではないです。宿題をやるのが好きな人の方が少ないと思います。だから、宿題代行業者というものがあるのだとニュースで見た時、少しくらいやましいと感じました。

くわしく知るためにインターネットで宿題代行について調べて見た結果、宿題代行業者らしきホームページがいくつかでてきました。いくつかでてきたうちの一番上にでてきたホームページには、「依頼が殺到しているので受付は停止しています。」というような内容が書かれていました。受付を停止しなくてはならないほど宿題代行業者に宿題の代行を依頼する人がいるという事にも驚きましたが、引き受けてもらう事のできる宿題の種類の高さにもとても驚きました。算数・漢字ドリルや読書感想文を代わりにやってもらえる、という事は知っていましたが、工作代行やアサガオの観察日記さえも代行してもらえるようです。小中学生の宿題だけでなく高校生・大学生の宿題をやってもらえるところもあるそうです。

宿題代行業者に代行してもらうことのできる宿題の種類はとて多いようなので、むしろ代行してもらえない宿題の方が少ない気がします。この夏休みに私がこなす宿題も、代行してもらえない宿題は体育の体力作りカードや自分史、暗唱練習など数個しかないようです。今こうして書いている感話も代行業者に依頼すれば、私はテレビを見たり昼寝をしたりしていても終わるのでしょう。

もしもこの感話を代行業者に依頼したら、どのくらいの値段がかかるのでしょうか。感話が作文・小論文の一つに入るかはわかりませんが、作文・小論文などの一つとして考えるならば原稿用紙1枚あたり2千5百円から3千5百円くらいで、3枚代行してもらったならば、7千5百円から1万5百円くらいで代行してもらえます。

想定内の額ではありますが、自分が親から貰っているおこづかいだけで全て代行業者に代行してもらうのは少し難しい額です。ですから、実際に代行を依頼しているのはほとんど保護者なのだと思います。

しかし、私は今もちろんとくに小学生だった時、ちゃんと宿題をこなせ、宿題は終わったのか、と言われはしましたが、どれだけ終わらなくてもお金を払って代行してもらおう、となった事は一度もありませんでしたし、代行してもらいたい、と言ったとしても親に宿題は自分でやるものだと、と言われていたと思います。

ならば、どのような保護者が宿題代行業者に依頼するのでしょうか。宿題代行業者のホームページには、「病気などで宿題がこなせない」時や進学塾へ専念するために利用する家庭も多い、とありました。病気で終わらなかつた事はないですが、受験間近の小学六年生の時は、塾で出される課題や夏期講習もあり、小学校の宿題は少し手抜きになった記憶があります。しかし、少し手を抜いてしまった範囲の、とくに漢字がいまだに少しあやふやで、

手を抜いた事をととても後悔しています。

手を抜いただけでもあやふやになってしまったのに、代行してもらった場合はどうなるでしょう。自分は全くやらないのですから、身につかないはずです。塾へ行っていたならば、塾でやるから問題ないのかもしれないですが、自分以外の人は苦勞して解いた問題を自分だけお金の力でどうにかした、というのはやはり大人になってから後悔するのではないのでしょうか。私ならばずるをするくらいなら宿題が中途半端でも自分がやった分をきちんと認めてもらいたいと思います。